



2026年2月25日

錦岡駅 電化設備故障により車両のパンタグラフを変形させた事象について

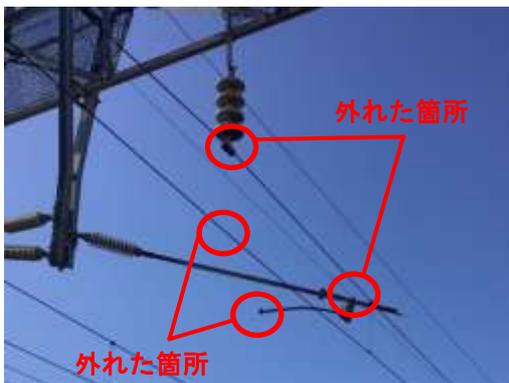
2026年2月20日8時34分頃、室蘭線 錦岡駅2番線の電化設備において架線から振止装置が外れていることを確認しました。この線路を走行した車両を点検したところ振止装置がパンタグラフに接触したことによりパンタグラフの一部変形が確認されました。

この影響により、2月20日～2月23日にかけて運用上の都合（いわゆる車両繰り）で一部列車に運休が発生しました。ご利用のお客様にはご迷惑をおかけしましたこととお詫び申し上げます。

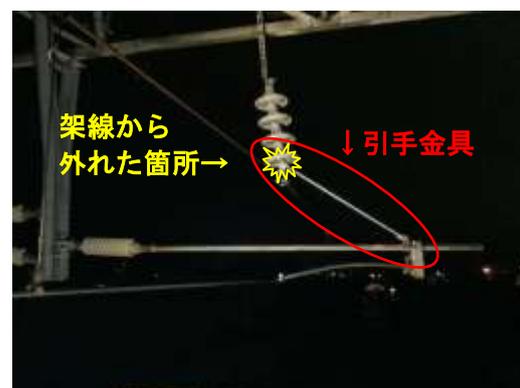
1. 発生日時 2026年2月20日（金）8時34分頃
2. 発生場所 室蘭線 錦岡駅 2番線（苫小牧市錦岡647番地1）
3. 概況 8時34分頃、室蘭線の錦岡駅2番線において、苫小牧8時03分発 糸井行き 普通列車（糸井駅から錦岡駅まで回送）の運転士より錦岡駅札幌方架線から金具が外れているとの申告を受け確認したところ、錦岡駅2番線振止装置（※1）の引手金具が外れており、列車のパンタグラフが一部変形し傾いていることを確認しました。

さらに、当該車両以前にこの線路を走行した車両を点検したところ、2編成のパンタグラフに一部変形が発見されました。

※1 振止装置 … 架線をレール面上の所定の位置に保持するとともに、風による横振れを防止するための装置。（写真1,2）



（写真1）架線から外れた振止装置



（写真2）復旧後の振止装置



(写真3) 一部変形したパンタグラフ

4. 原因 振止装置を構成する部材（引手金具）の一部が腐食・破損し、架線から外れ、パンタグラフに接触したため。
5. 対策 当該部材・部位の腐食状況を着眼点とした緊急点検を全箇所を実施し、点検については3月31日までに終了する予定です。
6. 付記
 - (1) 錦岡駅の同種設備（3箇所）の点検を実施し、異常がないことを確認しました。
 - (2) 当該振止装置の定期点検は、2025年4月7日に目視で実施しているが、本事象に至る引手金具の異常は確認できなかった。
7. 運休列車 67本（2月20日～23日）

※なお、上記運休のうち42本は、ほぼ同時刻で気動車による臨時列車を運転

影響人員 3,290名